

# 《平成20年度胃がん疫学調査成績》

表1 保健所別胃がん発見率と早期がん率

保健所名	性別		深達度		発見胃がん計	受診者数	がん発見率	早期がん率
	男	女	進行	早期				
村上	11	3	5	9	14	7,707	0.182	64.3
新発田	23	8	5	26	31	10,402	0.298	83.9
新津	12	4	5	11	16	5,541	0.289	68.8
三条	26	8	10	24	34	17,095	0.199	70.6
長岡	7	1	3	5	8	11,685	0.069	62.5
魚沼	18	0	7	11	18	8,556	0.210	61.1
南魚沼	6	2	1	7	8	5,019	0.159	87.5
十日町	10	2	3	9	12	5,999	0.200	75.0
柏崎	5	2	2	5	7	5,611	0.125	71.4
上越	29	11	10	30	40	12,356	0.324	75.0
糸魚川	3	3	0	6	6	1,994	0.301	100.0
佐渡	7	3	4	6	10	5,096	0.196	60.0
合計	157	47	55	149	204	97,061	0.210	73.0

※斜字は県平均よりも高い地域

図3 胃がん累積生存率 (S62~H18年発見)

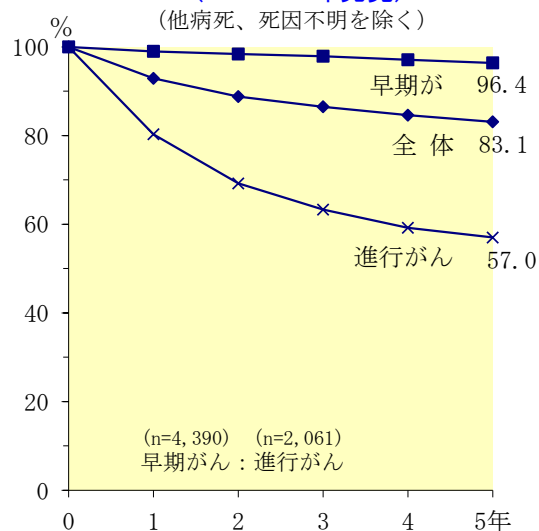


図4 病期別累積生存率 (他病死、死因不明を除く)

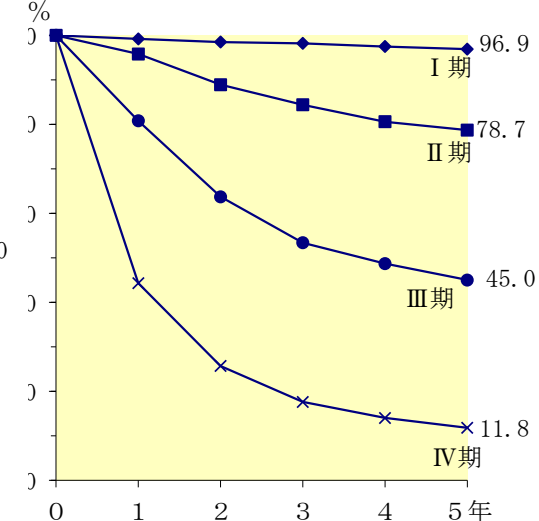
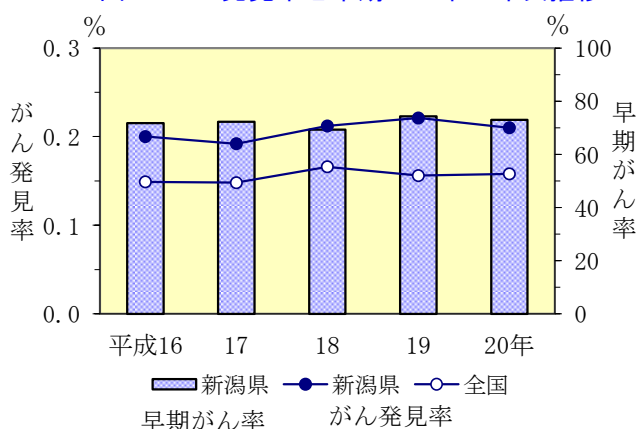
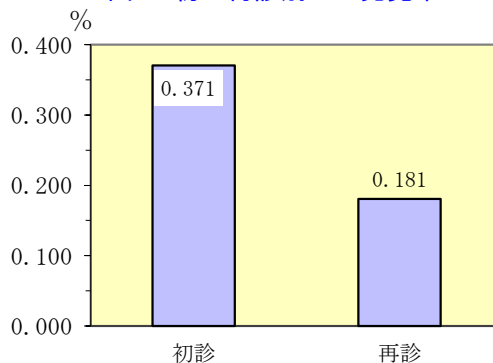


図1 がん発見率と早期がん率の年次推移



※「全国」は日本消化器がん検診学会全国集

図2 初・再診別がん発見率



胃がんを多く見つけるためには初診者の掘起しが重要。

表2 発見胃がんの予後 (S62~H18年発見分)

平成21年12月31日現在

	生存	原病死	他病死	死因不明	転出	不明	計
数	5,433	918	535	173	78	35	7,172
(%)	(75.8)	(12.8)	(7.5)	(2.4)	(1.1)	(0.5)	(100.0)

# 《平成20年度肺がん疫学調査成績》

表1 保健所別肺がん発見数と受診者数

保健所名	発見肺がん			受診者数			※ がん 発見率	I期 割合
	男	女	計	男	女	計		
村上	11	1	12	6,888	10,743	17,631	68.1	41.7
新発田	16	2	18	9,295	16,314	25,609	70.3	61.1
新津	7	5	12	3,277	5,427	8,704	137.9	66.7
三条	18	12	30	12,651	20,831	33,482	89.6	70.0
長岡	15	14	29	9,880	18,565	28,445	102.0	72.4
魚沼	7	4	11	5,907	9,623	15,530	70.8	54.5
南魚沼	6	5	11	4,217	6,412	10,629	103.5	81.8
十日町	7	4	11	4,965	7,533	12,498	88.0	45.5
柏崎	10	4	14	6,069	10,348	16,417	85.3	57.1
上越	15	7	22	7,927	14,085	22,012	99.9	72.7
糸魚川	4	1	5	1,100	2,005	3,105	161.0	20.0
佐渡	4	3	7	5,003	7,852	12,855	54.5	14.3
合計	120	62	182	77,179	129,738	206,917	88.0	61.5

※がん発見率は受診者10万人対

図3 肺がん累積生存率  
(S63~H18年発見)  
(他病死、死因不明を除く)

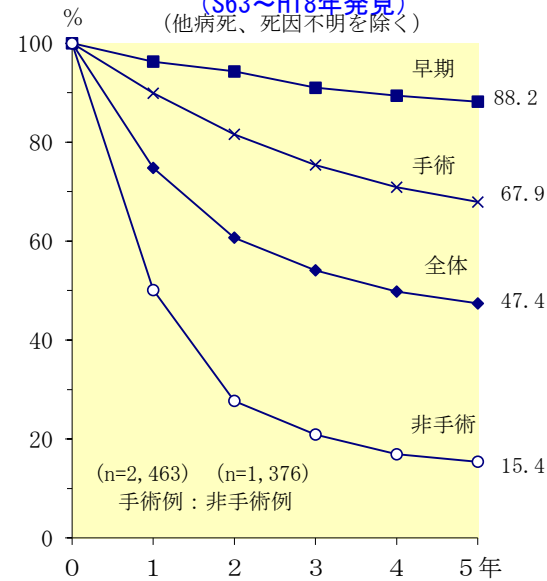
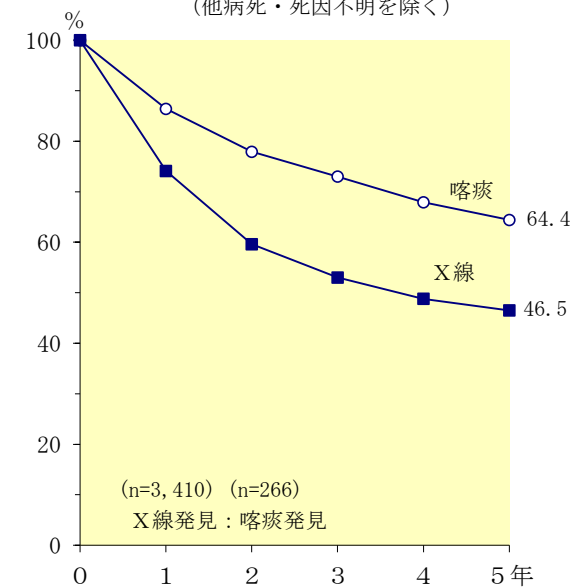


図4 発見方法別累積生存率  
(他病死・死因不明を除く)



喀痰細胞診は早期発見が多く、生存率も高い。

図1 がん発見率と早期がん率の推移

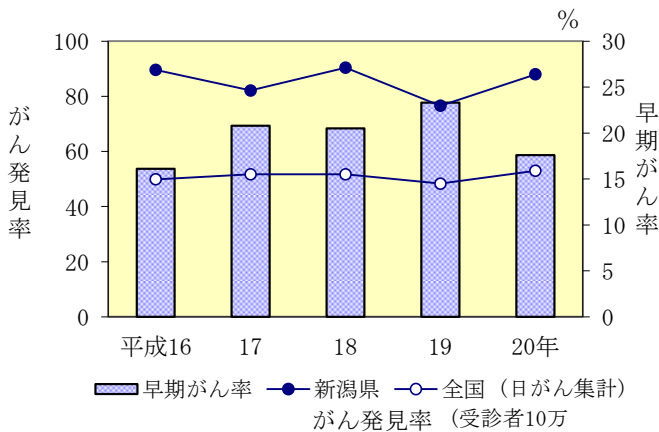


図2 一般群、高危険群別がん発見率  
(受診者10万人対)

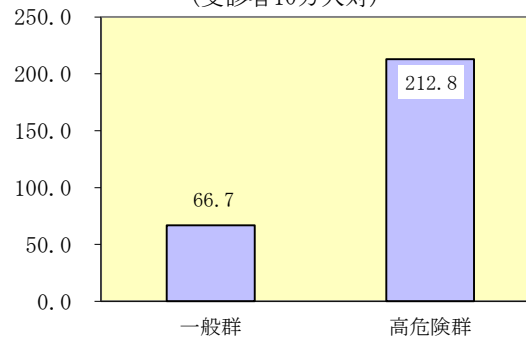


表2 発見肺がんの予後 (S63~H18年発見分)

平成21年12月31日現在

	生存	原病死	他病死	死因不明	転出	不明	計
数	2,043	1,689	324	341	58	49	4,504
(%)	(45.4)	(37.5)	(7.2)	(7.6)	(1.3)	(1.1)	(100.0)

# 《平成20年度子宮がん疫学調査成績》

表1 保健所別子宮がん発見数と受診者数

保健所名	頸がん		体がん	がん発見数	不適正標本数	受診者数	※がん発見率
	浸潤	上皮内					
村上	0	3	0	3	38	2,273	132.0
新発田	0	3	0	3	23	4,812	62.3
新津	0	2	1	3	1	2,228	134.6
三条	4	6	0	10	124	9,823	101.8
長岡	0	7	0	7	318	5,357	130.7
魚沼	1	3	0	4	68	3,195	125.2
南魚沼	0	2	0	2	3	1,965	101.8
十日町	0	2	0	2	0	2,311	86.5
柏崎	0	2	0	2	2	2,347	85.2
上越	0	2	0	2	43	9,320	21.5
糸魚川	0	0	0	0	10	1,544	0.0
佐渡	0	3	0	3	0	2,104	142.6
合計	5	35	1	41	630	47,279	86.7

※がん発見率は受診者10万人対

図1 がん発見率と早期がん率の推移%

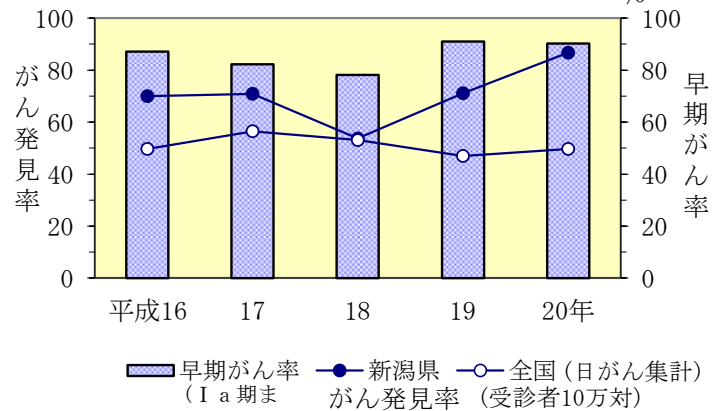
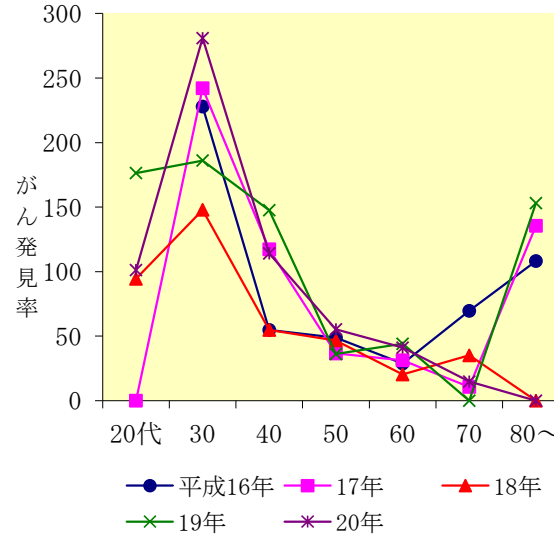


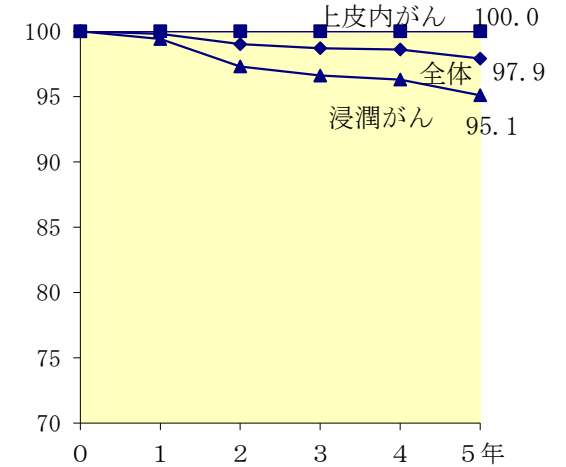
図2 年代別子宮がん発見率 (受診者10万人対)



30代の発見率が高いので、特に若年者への受診勧奨が重要。

図3 子宮がん累積生存率

(S62~H18年発見)  
(他病死、死因不明を除く)



## 《平成20年度乳がん疫学調査成績》

表1 保健所別乳がん発見数と受診者数

保健所名	がん発見数		受診者数		がん発見率	
	視触診	マンモ併用	視触診	マンモ併用	視触診	マンモ併用
村上新新三長魚南十柏上糸佐	—	6	—	2,208	—	0.272
発田津	—	16	—	3,600	—	0.444
新津	0	6	4	2,359	0.000	0.254
三条	1	17	4,485	6,623	0.022	0.257
長岡	—	13	—	5,298	—	0.245
魚沼	—	9	—	3,306	—	0.272
南魚沼	0	5	4	1,788	0.000	0.280
十日町	0	6	1	2,380	0.000	0.252
柏崎	1	5	156	2,015	0.641	0.248
上越	3	13	3,130	3,702	0.096	0.351
糸川	0	1	196	1,824	0.000	0.055
佐渡	0	7	2	2,227	0.000	0.314
合計	5	104	7,978	37,330	0.063	0.279

マンモ併用乳がん検診は視触診のみと比べ約4.4倍の発見率である。

図1 がん発見率と早期がん率の推移

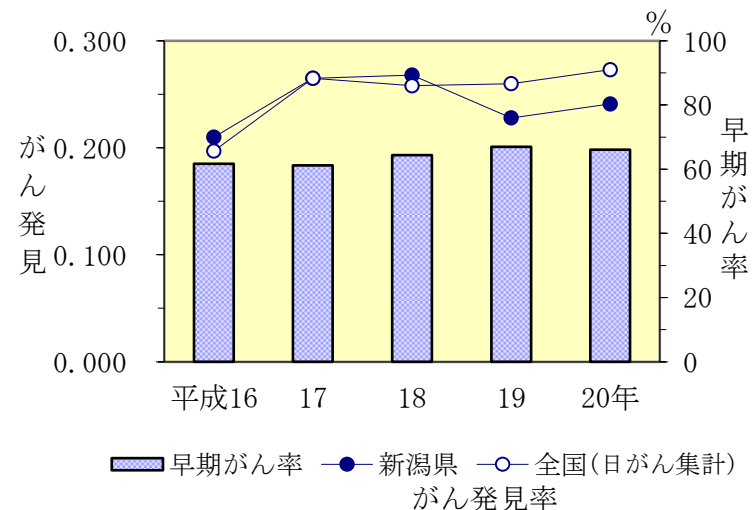
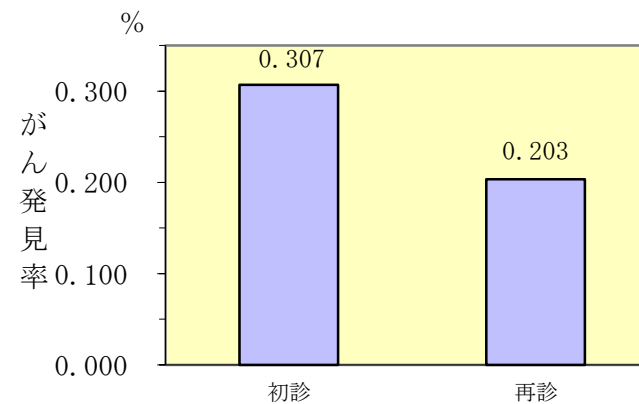


図2 初・再診別がん発見率



# 《平成20年度大腸がん疫学調査成績》

表1 保健所別大腸がん発見率と早期がん率

事務所名	性別		深達度		がん発見数	受診者数	がん発見率	早期がん率
	男	女	進行	早期				
村上	10	7	5	12	17	7,202	0.236	70.6
新発田	24	14	16	22	38	12,581	0.302	57.9
新津	19	5	6	18	24	6,298	0.381	75.0
三条	32	24	15	41	56	22,490	0.249	73.2
長岡	29	18	16	31	47	12,953	0.363	66.0
魚沼	9	8	8	9	17	9,011	0.189	52.9
南魚沼	7	7	5	9	14	7,506	0.187	64.3
十日町	6	12	5	13	18	8,162	0.221	72.2
柏崎	12	13	7	18	25	7,350	0.340	72.0
上越	17	10	9	18	27	15,221	0.177	66.7
糸魚川	3	6	1	8	9	2,250	0.400	88.9
佐渡	12	4	4	12	16	5,118	0.313	75.0
合計	180	128	97	211	308	116,142	0.265	68.5

※斜字は県平均よりも高い地域

図3 大腸がん累積生存率 (H5~H18年発見)

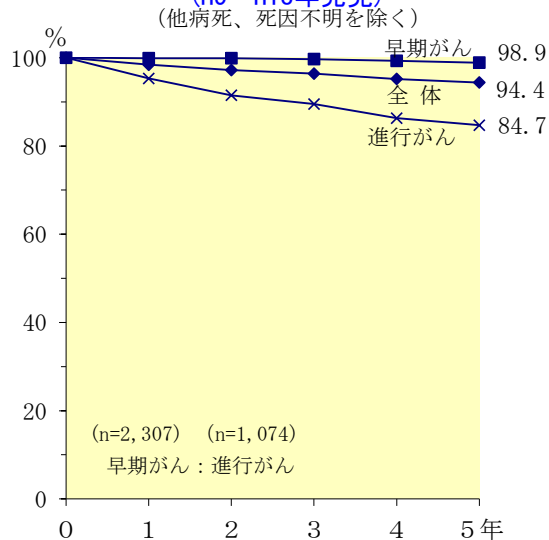
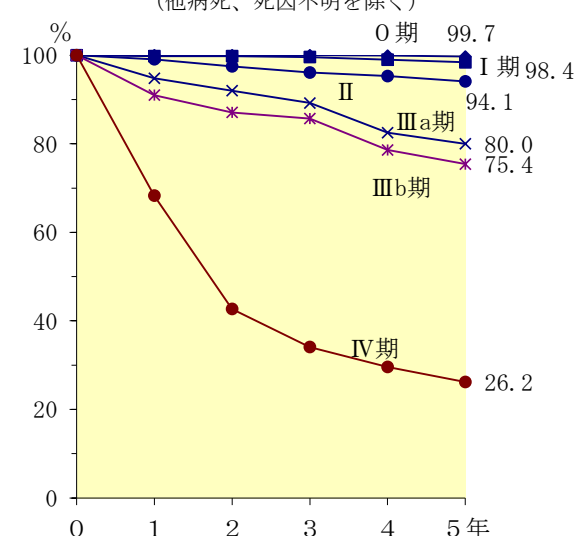
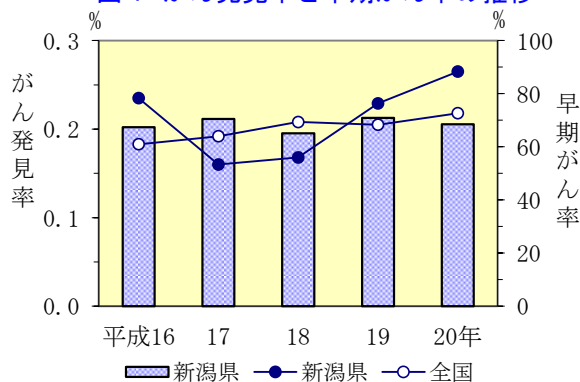


図4 病期別累積生存率 (他病死、死因不明を除く)



全体の5年生存率が94.4% (進行がんでも84.7%)で非常に予後が良い。

図1 がん発見率と早期がん率の推移



※「全国」は日本消化器がん検診学会全国集計値

図2 初・再診別がん発見率

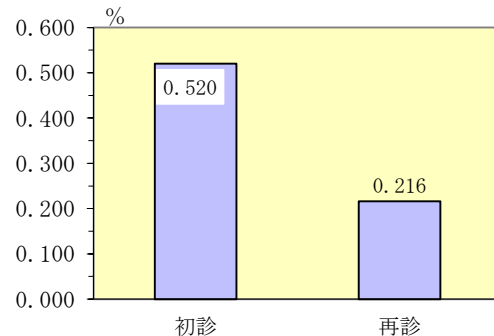


表2 発見大腸がんの予後 (H5~18年発見分)

平成21年12月31日現在

	生存	原病死	他病死	死因不明	転出	不明	計
数	3,195	147	162	129	38	3	3,674
(%)	(87.0)	(4.0)	(4.4)	(3.5)	(1.0)	(0.1)	(100.0)